

報道機関各位

藤沢市民病院長

市民病院におけるVRE感染問題の終息と今後の対策について（お知らせ）

1. VRE感染問題の終息について

藤沢市民病院においては、昨年6月にVRE（バンコマイシン耐性腸球菌）の院内感染が発生して以来、その感染対策に継続して取り組んでまいりました。

現在までに判明しましたVRE陽性患者数は累計で106名（市民病院に入院する前にすでに陽性であった方を含みます）となっておりますが、対策の結果、今年の6月の2名を最後に院内での新規陽性患者さんは発生しておりません。このような中で、10月7日には、入院患者さんでVRE陽性の方が0名になりました。このため、当院におけるVRE感染問題は終息したものと宣言いたします。

2. 今後の対策について

しかしながら、当院にて受診されているVRE陽性の患者さんは、まだいらっしゃいますし、またこれまでの調査からも、ふつうに生活されている人の中にもVREを持っている人がいることから、引き続き感染予防策並びにVRE監視体制（入院時検査等）を継続してまいります。

3. 経過と対策の公表について

今後も市民の皆さまに対しては報告書など適切な情報の提供を継続させていただきます。さらに、他の医療機関における今後の感染対策に役立てられるよう、学術集会および学術雑誌上等での公表を予定しています。

以上